

学年通信

吹田東高等学校 46期生

(第2学年) 5月号

「今、だから、できること」を！

一ヶ月前には、満開だった桜が葉桜となり、グラウンドと校舎の間の斜面、校舎西側斜面の大きなツツジは先日まで満開でした。来年は、この季節に、ぜひ卒業アルバムの写真を撮りたいスポットです。季節は、たしかにめぐっていきます。

3月末に子どもが産まれました。休校でみんなに会えない反面、家族で過ごす時間が増え、この一日一日がとても大切だと実感しながら過ごしています。「高校2年生」という時期は1度だけ、今しかありません。勉強はもちろん、家族で過ごす時間も大切に、精一杯の日々を過ごしていきます。学校が再開すればあつという間です。「今」も「再開後」も全力で駆け抜けましょう！
(1組担任 数学)

数学Ⅱでは直線について学びます。決められた直線を描くとき、2つの描き方があります。一つは2点を結ぶ方法、もう一つは方向を定め、ある点を通るように線を引く方法です。2つの描き方は異なりますが、描かれる直線は同じものです。一つの直線という同じものであっても、捉え方は様々あります。休校の今も、緊急事態という側面以外の捉え方があるはず。今をポジティブに捉え、今いる場所で一緒に頑張りますよ。
(2組担任 数学)

去年の今頃は、下の古い校舎に通っていて…教室のドアはガタガタで、でも体育館とか食堂は近くて便利で、GWは10連休でめちゃ長くて(宿題も多くて)、体育祭は万博まで行って。1年経って、まさかこんなことになるとは。でも、今から1年後には、今を懐かしむのだろうな。長い休校があったなあ、遊び場所も無かったなあ、部活もなくて、でも普段は気づかないことに気づけたりして、それでもやっぱり将来が不安だったなあ…その次の年も、過去を懐かしく思っ…ずっとその繰り返し、今はその繰り返しの『一コマ』の中。
(3組担任 英語)

時間にゆとりがあるので、なんとなくダラダラ過ごしていませんでした。私は授業がないので運動不足になってしまいました。授業で声を出していることが、適度の運動になっていたのだと再認識しました。でも、普段読めなかった本は読むことができましたよ。皆さんは休校期間中でしかできないことを何かやりましたか。ホットケーキ、パン、ケーキ、お好み焼きなどを作っていない？ スーパーに行ったら小麦粉が売り切れでびっくりしました。家族みんなで作っているのかなあ、と小麦粉やドライイーストを求めて毎日スーパーに通っています。

さて、これといってとくにしなかったなあ、と思う君へ。毎日安定したリズムを作る仕掛けは簡単。前日に予定を立てることで。そうすれば、起きてから何をしようかから考える必要もなく、あとは実行するのみ。これは休校期間中だけでなく、普段からやってほしいことです。

去年の秋、体育館での学年集会で、私が「**選択があなたの人生を変える**」という話をしたことを覚えていますか。さて、この休校期間中のあなたが行ってきた「選択」を思い出してください。日々のあなたの小さな選択が、あなたの人生に影響を与えるということを。
(4組担任 英語)

1回目の登校日には、10～15人ずつ、短時間でしたが、みなさんの顔を見ることができて嬉しかったです。なかなか40人全員でクラス開きできる日が来ないですが、そのうちに…!! 悶々とすることは多いですが、でも、普段は忙しくて(?) 放ったらかしにしていた部屋の片づけや服の整理などができたし、スッキリしました。「**しあわせはいつも自分のこころがきめる**」相田みつをさんの言葉です。今後もウイルスとの共存は回避できなさそうですが、それでも、慎重目つポジティブにいきましょう！課題もポジティブな心意気でがんばってくださいね。
(5組担任 音楽)

15日、分散登校でしたが、みんなに会えて安心しました。東校長先生の挨拶に「できない」ことばかり考えていると「できない」ことばかり見えてくる。「できる」ことを考えると「できる」ことが見えてくる、今できることはたくさんある！とおっしゃっていましたね。学校生活でも同じことがいえると思います。本校の厳しい校則の中では何もできない!!と嘆くのではなく、**できることにスポットを当て、みんなのアイデアを出し合う**とオリジナリティにとんだ面白いものになるでしょう。約3か月チャージされ続けた学校への思いを今年1年の学校生活に爆発させ、コロナがあつたけど、最高に楽しかった1年間だった!!と言えるといいですね。私たち学年団は全力でサポートしますよ。楽しみです。
(6組担任 保健体育)

朝起きて、ごはんを食べて、学校へ行って、授業を受けて、クラブをする…。普通にやっていたことができなくなって、普通とか日常とかということが、自分にとって、いかに大切なことだったか、わかったでしょうか。これからは、完全に普通に帰ることは難しいのかもしれませんが、結局は、どんな一日であれ、冷静に、**何か自分にとって大事な何か、必要な何か、考えながら生活していくことが、自分の人生を創り出すこと**になると思います。
(7組担任 地歴公民)

当たり前にできたことができなくなったり、今までやろうとも思わなかったことに挑戦できたり。普通の生活では見えなかったものが、良い面も悪い面も見えた日々でした。まだ、この生きにくい時代は続きそうです。でもそんな中で**安心して温かい気持ちで居られる、学校や教室がそんな気持ちのいい場所になるよう、これからの日々を一緒に作っていきましょう。**
(8組担任 国語)

2年の生物選択者では最初に「免疫」について勉強します。すでに課題が出ていますが、取り組む前にすでにニュースで知っていたことや、教科書より詳しい内容の解説番組を見た人もいるかもしれませんね。私は身の回りの疑問を考える教科が「理科」だと思っています。その「理科」に触れるいい機会になったのではないのでしょうか。授業でやっているから嫌々考えるのではなく、**普段からいろんなことに疑問をもって生活してみてください。**世界の色が変わって見えるようになるはずですよ。
(元1年6組担任 生物)

今回の現代文の課題は、NHK高校講座「**ロンリのちから**」(各回10分間)を視聴して答える問題です。番組は、論理学者の先生(東京大学大学院教授、野矢茂樹先生)が監修して、「高校生が、高校を舞台にドラマを撮影しながら、論理について考える」という設定で、わかりやすく解説してくれています。実は、この番組を視聴しなくても、自分で考えて答えを導き出すこともできます。この機会に、国語に必要な「論理」に関心を持ってほしいと考え、休業中の課題としました。「**本当に自分で考える力**」の前提は、方法を暗記することではなく、「**何かに頼らず、自分で考えようとする意志**」を継続することです。
(学年主任 国語)

次回の登校日、5月26日(火)について

今回と異なりますので、注意してください。使用教室は、当日、掲示で確認してください。

9:30	1組・2組・3組(9教室)	2F
11:30	4組・5組(6教室)	3F
14:00	6組・7組・8組(9教室)	4F

各クラス3分割で、リスニングテスト・課題チェック・課題回収・課題

配付→その後、場所を変えて、(広い場所で)クラス単位の

HR(クラス開き)となります。